

つむりの練習手帳

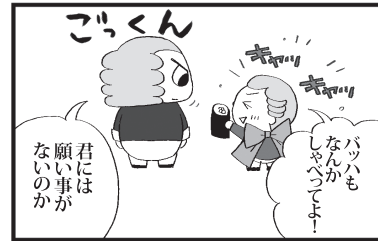
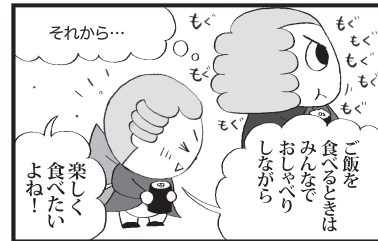
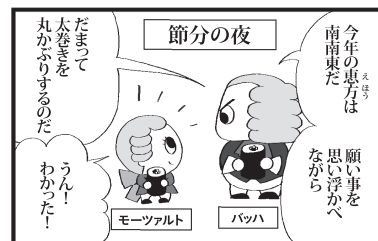
たまにしかひらめいてくれないつむりですが、ひらめくといろいろな事がうまくいようになります。毎晩やっている「音読」(←先生には「朗読」って言いなさい、って言われたらしいけど、どう聞いてもレベルが「おんどく」)や、ゴハンを食べるスピードもそうだし、一番よくわかるのがピアノの練習です。ひらめいていると上手なんだけどなあ。(トホホお兄)

つむり現在の楽譜
 ☆ハノン・ピアノ教本
 ☆ル・クーベ
 ピアノのアルファベット
 ☆フォーレ ドリー組曲 Op.56

シェアハウス No.3 どれみふあ荘

恵方巻

漫画: 東園子



「勇気づけのピアノレッスン」No.24

<連載2周年、ありがとうございます>

「勇気づけのピアノレッスン」の連載が始まり、今月号で早くも丸2年となりました。

「アドラーって誰?」「アドラー心理学なんて聞いたこともない。」と言われた時代もありましたが、2年ほど前からのブームのお陰で、ようやく知名度も少しずつ上がり、20年以上も前から学んできている私は、おこがましくも「やっとな時代が追いついてきた」と感じています。

このアドラー心理学が、ピアノ指導にも役立つことを多くの先生や保護者の方々に知っていただきたくて書き始めた「勇気づけのピアノレッスン」。連載が始まった頃は、ぼちぼちだった反応が、今では「コラムを読んで、いつも勇気もらっています。」「このコラムを読みたくて、毎月、楽譜屋さんにお便りやメッセージをいただき、心から感謝の気持ちでいっぱいです。有り難いことに、昨年3月に学研より出版された『あなたの想が届く 愛のピアノレッスン』の中では、手記「ある教室のささやかなサクセスストーリー」を執筆させていただき、私のアドラー心理学の実践を、既に多くの方に読んでいただいております。

ただ、そうは言うものの、まだまだ音楽の世界で心理学はあまり馴染みがなく、心理学と聞いただけで自分には関係ないと思われる人も残念ながらいらっしやとか。アドラー心理学は確かに心理学ではありますが、大学の一般教養で学ぶフロイトやユングの心理学とは全く異なります。なので、ぜひこの機会に学んでいただけたらと思うのです。

次回からは、「勇気づけのピアノレッスン」をリニューアルして執筆させていただくことが決まり、とても嬉しく思っています。アドラー心理学が、多くの音楽を愛する人の心に届き、勇気や元気の源となりますように、これからも書き続けていきたいと思っております。3月号からも、どうぞよろしくお願いいたします。

松井美香

「勇気づけの音楽家」東京音楽大学ピアノ専攻卒業。学研「愛のピアノレッスン」にて手記を執筆。
 <HP> 松井美香ピアノ教室 <http://matsuimika-piano.net>
 <ブログ> ピアノの先生のためのモチベーションアップ術 <http://ameblo.jp/makeeachangewithlove>
*無料メルマガ好評配信中 (ご登録はブログにてお知らせしています)

参考演奏 CD付き 有名なピアノ曲に手軽にチャレンジできる 参考演奏CD付きピアノ名曲集!

弾きたい!聴きたい!ピアノ名曲シリーズ

編:編集部 演奏アドバイス:黒田篤志

あらゆるシーンで大活躍!!

弾きたい!聴きたい! 情熱のピアノ名曲 Now printing

弾きたい!聴きたい! 華麗なピアノ名曲 Now printing

発売中 第3弾 2月中旬発売

■各:菊倍判/48頁/CD付き/本体価格1,000円(税別)

学研 おんがく通信

Web版もある! バックナンバーが閲覧できる! Webならではの情報が満載!

2月号

2016年1月25日

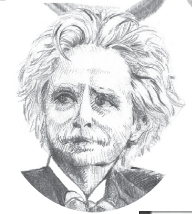
学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>
 電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>
 twitter @gakken_music
 Facebook gakken.music

株式会社学研プラス 音楽事業室
 〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL:03-6431-1220

そろそろ卒業式の練習が始まる頃でしょうか。(お)は Kiroro の〈未来へ〉を歌いました。少ない人数でもギリギリまで集まって練習していたことを思い出すと少し切なくなります。ピアノが上手な友達が編曲してくれたので特別な1曲になりました。(お)

究極の名盤を聴く⑦ グリーグ ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16

23人の音楽評論家を選んだ究極の名盤ガイド『クラシックCDエッセンシャル・ガイド150』をもとに、歴史に残るピアノ曲の名盤をご紹介します。今回は、グリーグの〈ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16〉をご紹介します。この曲は、妻ニーナとの結婚の翌年、新婚生活の中で書かれました。北欧的な叙情と、ピアノの美しい演奏技巧が盛り込まれています。グリーグの代表作でもあります。数あるピアノ協奏曲の中でも、非常に人気の高い曲です。

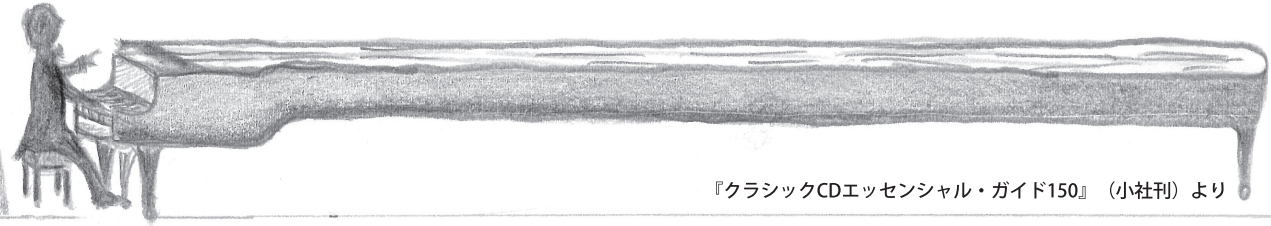


- ### 名盤 BEST 5
- 1. ディヌ・リパッティ**
 ガリエラ指揮
 フィルハーモニア管弦楽団
 [Opus 蔵 / OPK 2072/MONO/1947年] (輸)
 - 2. クリスティアン・ツィマーマン**
 カラヤン指揮
 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
 [ドイツ・グラモフォン / 4779964/1981,82年] (輸)
 - 3. スヴァトスラフ・リヒテル**
 マタチッチ指揮
 モンテ・カルロ国立歌劇場管弦楽団
 [Warner/WPCS 23037/1974年] (輸)
 - 4. レイフ・オヴェ・アンズネス**
 キタエンコ指揮
 ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団
 [VC/TOCE8629/1990年] (廃)
 - 4. ワルター・ギーゼキング**
 カラヤン指揮
 フィルハーモニア管弦楽団
 [EMI/TOCE3304,TOCE11522/MONO/1951年] (廃)
- (輸)=輸入盤 (廃)=廃盤

ディヌ・リパッティ Dinu Lipatti [1917-1950 (ルーマニア)]
 リパッティは、演奏家として輝かしいヴィルトゥオーソであったばかりでなく、感受性と繊細さをそなえており、音色に対する鋭敏な感覚にもたいへん恵まれていました。したがって、彼の古典派の作品も無味乾燥な演奏に陥ることはなく、ロマン派の作品においてはさらに貴族的な洗練された音楽をつくりあげ、情熱に押し流されることはありませんでした。それはグリーグの協奏曲でも発揮されています。

クリスティアン・ツィマーマン Krystian Zimerman [1956- (ポーランド)]
 ツィマーマンの雄弁さが輝く演奏です。強弱のニュアンスが豊富で、見事なテクニックによってすべての音を鳴り響かせています。こんなに曖昧な部分のない、メリハリのあるグリーグは滅多にありません。高音のきらめきから繊細なピアノの囁きまで幅広く表現しています。カラヤンの指揮もドイツ後期ロマン派を彷彿させます。

スヴァトスラフ・リヒテル Sviatoslav Richter [1915-1997 (ウクライナ)]
 リヒテルならではの、スケールの大きい音楽世界を繰り広げています。聴き手を圧倒するすさまじい気迫の一方で、グリーグ特有のメランコリックな美しさに彩られた各主題を、やや遅めに設定されたテンポで、優美にしっかりと歌い上げています。マタチッチの指揮もしたたかなオーケストラ演奏でリヒテルに対抗しているように聴こえます。



『クラシックCDエッセンシャル・ガイド150』(小社刊)より

ピアノの森から 第21回

田丸信明先生のすてきなオリジナル曲をご紹介します

11月号から『新訂 ピアノの森』第1巻~第3巻の巻末に新たに収録された“連弾の曲”を1曲ずつご紹介しています。今回は〈ポルカ・ポルカ〉(第2巻収録)。以前、「NHK みんなのうた」で歌われた〈はさみとき〉という曲でもあるのですが、どこかで聴いたことがあるようなメロディーに簡素なおしゃれなコードが寄り添う生徒さんパートと、ビートの効いた先生パートによる、田丸先生のアレンジならではの楽しい連弾曲に仕上がりました。(か)

糸編集部のつづがいったー!

お芝居のチケット半券を整理していたら、昨年15回も観劇していたことが判明。幸せな思い出の数々がよみがえるとともに、トータルチケット代を計算して若干青ざめるのでした...(ゆ)

Twitter [@gakken_music](https://twitter.com/gakken_music) 日々のよしなしごとや最新情報もツイートしています!

